１００．古座街道（こざかいどう）

選定箇所：潤野（うるの）、一雨（いちぶり）～相瀬（あいせ）、長追（ながおい）（和歌山県古座川町）～佐本根倉（さもとねくら）、佐本中（さもとなか）、法師峠（ほうしとうげ）（すさみ町）、宇津木越（うつぎごえ）（白浜町・上富田町）

概要：田辺と古座を最短で結ぶ街道で、林業・製炭業、行商人の往来、西国巡礼等に利用された。街道沿いには石仏が多く、一部石畳道も残る。明治時代には、熊野中道とも呼ばれた。